

陳述書

陸軍中將 後部 橋 樹

五拾參歲

一、經歷ノ概要

一九四三年十月末南方軍總司令部參謀副長（作戰ニ關スル事項ヲ擔當）トシテ東京ヨリ「シंगाポール」ニ著任ス

當時ノ南方軍總司令部ハ寺内元帥（一九四二年ヨリ「シंगाポール」ニ在リ一九四四年六月「マニラ」ニ移ル）ナリ

2 一九四四年四月新ニ「シंगाポール」ニ第七方面軍司令部編成セラレ

「マライ」 「ジャワ」 「スマトラ」方面ヲ指揮セシメラルルコトナリ

土肥原大將軍司令部トシテ東京ヨリ著任ス

同時ニ予ハ第七方面軍司令附トナル（飛行機事故ノ爲右脛部骨折ニテ二月以來入院加療中ニシテ職務ヲ執ラズ）

3 一九四四年六月末第七方面軍參謀長ヲ命セラレ七月一日ヨリ服務ス、當時傷未ダ治療セズ身體ヲ以テスル活動十分ナラズ

Per. Doc 1830

一九四五年四月土肥原大將東京ニ轉任シ板垣大將方面軍司令官ニ任セラレ朝鮮ヨリ「シंगाポール」ニ著任ス

予ノ職務變化ナク終戦ニ至ル

二、設問ニ對スル陳述

ノ問付尋ノ取扱、收容所ノ建物ノ狀況ヲ視察スル機會アリシヤ

答一九四三年十一月頃一月日ノ記憶不確實ナリ「シंगाポール島「チ

ヤンギー」ニ於ケル俘虜ノ取扱及收容所建物ノ一部ヲ視察セルコトア

リ予ノ視察セル建物ハ木造「バラツク」ナリシガ清潔ニシテ草花野菜

等ヲ周圍ニ栽培シ環境快適ナリキ職員ノ言ニ依リ俘虜ハ食糧ニツキテ

ハ米食ノミナル爲若干不平ナルモ概ネ満足シアリ、取扱ニツキテモ大

ナル問題ナキ旨ヲ承知セリ

一九四四年二月負傷以後ハ歩行不自由ナリシ爲視察ノ機會ナカリキ

2 問何時「ビルマ」「シヤム」「マライ」ニ旅行セシヤ夫レ等ノ地ニ旅行

セシトキノ任務如何

答一九四三年十二月「ビルマ」「シヤム」ニ旅行セシコトアリ任務ハラ

「メイミヨウ」 「バンコック」ニアリシ軍司令部ト作戰
上ノ連絡ヲナスニ在リキ

一九四四年十月頃（月日ノ記憶不確實） 「マライ」半島ノ「タイピ
ン」及「ベナン」島方面ニ旅行セリ任務ハ第二十九軍作戰計畫ノ研
究ヲナスニ在リ

一九四五年四月頃（月日ノ記憶不確實） 「マライ」半島ノ「タイピ
ン」 「クアラルンプール」方面ニ旅行セリ任務ハ第二十九軍司令部
ト作戰計畫ニ關スル連絡ヲナシ且現地ノ軍隊及地形ヲ視察スルニ在
リ

3 問 「ビルマ」 「シヤム」 「マライ」旅行ノ際ノ各地ノ指揮官名如何

答 「ビルマ」 方面軍司令官 川邊中將（後ニ大將）

「シヤム」 第三十八軍司令官 中村中將

「マライ」 第二十九軍司令官 石黒中將

4 問 板垣大將ハ此等ノ方面ヲ視察セシヤ其任務如何

答 「ビルマ」 「シヤム」ハ板垣大將ノ擔任地域ニアラス從ツテ視察セ
シコトモナシ

「マライ」方面ハ二回視察セシコトアリト記憶スルモ月日ノ記憶ナシ一回ハ一九四五年五月頃ト思フ目的ハ何レモ日本軍隊ノ軍紀、訓練、作戦準備ノ狀況ヲ視察スルニ在リキ
「シンガポール」ニ於テ一九四五年五月頃俘虜收容所及一般人抑留所ヲ視察セシコトアリト記憶ス

5

問、板垣大將著任前ト其後ト比較シテ俘虜ノ取扱ハ改善セラレシヤ否ヤ
答、板垣大將ハ極メテ正義ノ人ニシテ又人道ヲ重ンズル人ナリ從ツテ俘虜ニ對シテハ成シ得ル限り取扱ヲ良クスルコトニ努メ確ニ改善セラ

4

レタル點アリタリ之ヲ説明スレバ左ノ如シ

(1) 板垣大將著任ノ頃日本ヨリ聯合側ノ俘虜救恤品ヲ滿載シテ阿波丸ト云フ船カ西貢、新嘉坡及「バタビヤ」ニ來航セリ當時日本ト南方トノ航海杜絶シアリシ爲歸國シ得サリシ多數日本一般人ガ滞留シアリシガ許可ヲ得テ乗船シテ歸途ニ就ケリ阿波丸ハ絶對安全ナリトノ聯合側ノ保證アリシニ拘ラズ臺灣近海ニテ潜水艦ノ攻撃ヲ受ケ沈セラレタリ、而シテ此等乗船者（約二千數百人ト記憶ス）

ハ一人モ助命セラレシモノナシトノ悲シムベキ情報並方面ニ傳ハルヤ日本人ノ一般輿論ハ非常ニ激昂シ此ノ如クナルニ於テハ阿波丸ノ持來リシ救恤品ヲ存貯ニ分配スルコトヲ差止ムベシト云フモノ多キ狀況トナレリ此時ニ於テ板垣大將輿論ノ興奮ニ對シ辭力ニ之ヲ謙シ「此ノ如キハ日本武士道ノ精神ニ非ス此ノ如キ際ニ於テモ尙ホ且ツ説シテ救恤品ヲ分配スルコソ正義人道ノ旨ニ添フモノナリ冷靜以テ日本武士道ノ眞精神ヲ發揮スベシ」ト教へ速ニ救恤品ヲ分配スヘキヲ命シタリ當時ノ存貯タリシ人々ハ其ノ實行ヲ認メラレシコトヲ信ス

(ロ)

板垣大將ノ著任前ヨリ馬來半島周邊ノ陸海ノ交通輸送ハ空中及水中ノ攻擧ニ依リテ其ノ能力著シク低下シ「シヤム」方面ヨリノ米ノ補給ハ一九四五年一月頃ニハ所要ノ三分ノ一以下トナリ爾後逐次遞減ノ勢ニ在リキ、一方作戰計畫ノ變更ニ依リ馬來及「シンガポール」方面ノ兵力ハ逐次遞増スル狀況ニシテ糧食ノ補給ハ益々逼迫シ一面作戰準備糧食集積ノ要求モアリテ逐次食糧ノ配給ヲ減

少スルノ止ムナキニ至レリ。此チ日本軍ニ於テモ從來一人一日主食米七〇〇瓦ナリシヲ一九四五年二月ニハ六〇〇瓦ニ三月ニハ五〇〇瓦ニ減少セリ。俘虜及抑留者定量ハ米ハ日本軍ノニ比シテ二〇〇瓦減ナリシモ精米減量ニ伴フ補足トシテ現地自活ニ依リ芋類ヲ以テ精米換算七〇〇瓦迄増給ス。又肉類及野菜類ハ定量ノ外地自活ニヨリ増加給養ヲ一般ニ許可シテ體力低下ノ防止ニ努ム。

一九四五年四月以降對空防護工事ニ從事セシ俘虜ニ對シテハ板垣大將ハ特ニ日本軍ト同一ノ主食定量ヲ給スヘキヲ命シ更ニ精米代用品トシテ玉蜀黍一〇〇瓦又ハタピオカ芋二五〇瓦ヲ増給スルノ外「コヒー」砂糖「ミルク」「ジャム」「オートミル」等ノ嗜好品ヲ少量ナカラ増給セリ。此ノ如クナリシヲ以テ俘虜ハ喜んで此等工事ニ從事セリ。

○ 板垣大將ハ一九四五年五月抑留所視察時ニ於テ特ニ抑留者ノ食糧ヲ點檢シ可及的手段ヲ盡シテ増給スヘキ旨注意セリトノコトヲ開ケリ

(ハ) 勞務ノ點ニ於テモ前記ノ如ク日本軍モ全力ヲ擧ケテ勞務ニ從事ル

シ一般在留日本人スラ勞力奉仕ヲナシアリタルモノニシテ俘虜
ヲ勞務ニ就カシメタルハ止ムヲ得サリシモノナリ乍併板垣大將
著任後ノ勞務ハ主トシテ前記ノ對空防護工事ニシテ之ニ從事ス
ルモノハ特ニ健康者ヲ選定シ監督ノ將校以下選拔者ヲ以テ之ニ
充テ多クハ日本軍ト起居勞務ヲ共ニシ食糧モ加給品モ日本軍同
様ニ取扱ヒシモノニシテ從來ニ比シ大ニ改善セラレタルモノナ
リキ

(ニ) 衛生方面ニ於テモ衛生材料藥品ノ如キモ日本軍ニ保有セサリシ
特殊品ヲ除キ苟クモ日本軍ニ保有セシモノハ請求ニ應ジテ直ニ
補給セラレアリシモノニシテ俘虜ノ故ヲ以テ差異ヲ設ケシコト
ナシ特ニ前記工事ニ從事シタル俘虜ハ日本軍ト同様ニ日本將官
ヲシテ診療ニ任セシメ當時何等不平ヲ聞カザリシトコロナリ
以上ヲ以テ見ルトキハ俘虜ノ取扱特ニ食糧ニ於テハ一般狀勢上ヨリ
見テ逐次減少ノ止ムナキ狀況ニ在リシモ日本軍モ一律ニ減少シタル

モノニシテ止ムヲ得サリシモノナリ但シ勞務ニ從事スル者ニ對シテハ特ニ増加シ日本軍ト同一給與トシ又特ニ嗜好品ヲ増加給スル等一部ニ於テハ改善セラレタル事實アリシコトハ一ニ軍司令官板垣大將ノ人道尊重ニ基ク指導ニ依ルモノナリ

6 問 當時現地人ニ對スル日本軍ノ取扱ハ如何ナリシヤ

答 第七方面軍司令官土肥原大將、板垣大將ハ共ニ滿洲支部方面ニ於テ民政ニ經驗豊富ナル人々ニシテ常ニ現地ノ民衆ヲ慈育愛撫スヘキコトニ就テ部下ヲ訓諭指導セラレタリ 板垣大將ハ民衆ノ福祉増進ヲ特ニ重要視シテ施策セリ重要ナルモノ左ノ如シ

(1) 食糧政策 一九四五年四月以降終戦時迄ノ間ニ於テ食糧ハ馬來

佛印、泰、スマトラ、ジャワ等各地間ニ於テ他地域ヘノ補給ハ全ク不可能トナリ本國ヨリノ移入ハ皆無トナリ馬來「スマトラ」「ジャワ」「スマトラ」間ノ交通モ甚タ危険トナリ糧食ハ各地域毎ニ自給ヲ餘儀ナクセラレタリ然レトモ「シンガポール」島及「スマトラ」兩部地區ハ一般現地住民用ノ食糧ノ生

産及取得困難ナル爲特ニ重大ナル海上ノ危険ヲ冒シテ「ジャワ」
及「シヤム」ヨリ精米ノ移入ニ努メ四月乃至八月ノ間ニ

「ジャワ」―「シシガポール」間ニ 精米約二〇、〇〇〇噸

「ジャワ」―「スマトラ」間ニ ” 五、〇〇〇噸

「シヤム」―「マライ」(シシガポール)間ニ ” 二、三、〇〇〇噸

ヲ移送シテ民需ニ應セシメタリ之カ爲ニ軍需米ノ集積補給ヲ制
限セララルヲ待サリシ狀況ニ在リ

(ロ)

「シシガポール」疎開政策 戦局ノ進展ニ伴ヒ「シシガポール」 9

ニ戦禍ノ及ブコトヲ豫想セラレシヲ以テ現住民ニ與フル惨害ヲ
極力防止又ハ減少スル爲住民ノ疎開ヲナスノ要ヲ認メ主トシテ
馬來地區ニ疎開セシムルコトトシ既ニ著手シアリシガ板垣大將
著任後ハ急速ニ之ヲ推進シ著々之ヲ實行ニ移スコト、セリ當時
既述ノ如ク食糧事情逼迫セル際ナリシモ疎開者ニハ三ヶ月分ノ
食糧ヲ配給シ其他補助金ヲ給ヘル等民衆ノ禍害防止、制限及福
祉増進ニ大ニ努力セリ

(ハ)

「シンガポール」附近燃撃救援対策 「シンガポール」附近ノ

被燻ニ際シ民衆居住地區ニ被害アリシ際ニハ其ノ都度速ニ日本
軍ニテ救援隊ヲ派遣赴援セシメ惟災現場ノ消火、救助、治療、蓋
理等ニ當ラシムルノ外軍政當局ハ罹災民ノ救恤食糧特配等ヲ行
ヒ現地市民ノ救援ニ力ヲ用ヒ在留日本市民モ進ンテ之等ノ救援
作業ニ奉仕シタリ此ノ如クナリシヲ以テ現地民衆モ大ニ感謝シ
アリシ事實アリ

(ニ)

現地人勞務者ノ取扱 現地人勞務者ニ對スル取扱ニ關シテハ土

肥原軍司令官ノ在任中ヨリ方面軍ノ大ニ意ヲ用ヒタルトコロニ
シテ板垣大將著任後モ隸下軍隊ニ對シ屢々所要ノ指令ヲ與ヘ特
ニ重要ナル建設ニ方リテハ其計畫中ニ必ス現地勞務者ノ取扱ニ
關シ規定セシメ且ツ屢々所要ノ職員ヲ派遣シテ現場視察指導ヲ
ナサシムルノ外治療救護班ヲ編成援助スル等治療衛生、食糧ノ
改善ヲ行ハシメタリ 又勞務者ノ取扱良好ナル部隊、團體ヲ表

彰スル等ノ方法ニ依リ之カ改善ヲ奨励促進セリ特ニ「ピントン」島「アルミナ」建設及「パレンバン」石油施設關係ノ勞務者ノ衛生、食糧其他ノ福祉改善ニハ方面軍司令部直接之ニ指導ヲ加ヘテ改善ノ跡顯著ナルモノアリタリ

7 問

支那人又ハ支那兵（軍服ヲ着用シ又ハ便衣ヲ着用ス）ガ海賊行爲ヲナシ又ハ強盜ヲナシ之ヲ日本人ガナシタリト揚言シタルコトアリトノコトナルガ之ニ就テ知ルコトナキヤ

答

南海方面ニ支那人ノ海賊行爲ヲナス者アリト云フコトハ聞キシコトアルモ其ノ實例ニツキ具體的事實ヲ承知セズ

8 問

松井石根大將ヲ知レリヤ同大將カ南京ニテ病ノ爲ニ爾後ノ作戰指導ヲナシ侍サリシトノコトアリシヲ聞キタルコトアリヤ

答

松井大將ニハ二度會ヒシコトアルモ知已ト云フ程度ニアラス松井大將ノ南京ニ在リシ頃ハ予ハ大佐ニテ東京ニ在リシト記憶ス同大將カ肺病ニテ健康勝レズトノコトヲ聞キシコトアリ

西紀一九四七年二月六日

於「シンガポール」

陸軍中將 綾部 橘 樹